



職業講話が行われる 成長した本校卒業生の先輩の姿も！

9月30日、本校全生徒を対象とした「**職業講話**」が開催されました。講師は國幸興發株式会社（総合建設業）技術管理部部長の親川徹氏でした。親川部長にはこれまでも本校のプラットフォーム会議でお世話になっていて、いつか生徒対象に「**仕事とは**」「**社会の厳しさ**」等を伝える場を設定したいと考えていました。ようやく講話が実現することとなり、当日は全生徒静かに親川先生の話に聞き入っており、本当に「やってよかった」と思いました。社会に出るにあたり大切な事は「**健康で、勤勉であること（ちゃんと学校で学ぶ）**」と何度も力説され、「**人に頼むときは、「お願いします」ではなく、「お願いできますか」の方が相手にとって受け入れやすい**」「**人にお礼するときは「即（すぐに）」、お詫び（謝る時）も即**」という言葉も心に残りました。講話には本校の卒業生で國幸興發に入社5年目の先輩も後輩達にアドバイスしてくれました。質問タイムには会場から積極的な質問があり、大変貴重な時間となりました。



熱く充実した
講話でした



ボリビアからようこそ！ 南農生と交流しました

10/21(火)に南米の**ボリビア共和国**から沖縄県人会のネットワークを活用した交流会で**6名の高校生が本校を訪問しました**。最初の顔合わせで私は「ブエノス ディアス」とスペイン語であいさつすると緊張感がほぐれて笑顔を見せてくれました。やはり言葉というのは大切だと改めて実感しました。その後生徒は生活デザイン科でアロマオイルを作成したり、ドライフラワーを使ったキーホルダーづくりを通して交流していました。なかなか言葉は通じなくても同じ活動をすることで少しずつ距離が縮んで、帰る頃にはお互いのアカウントを交換するまでになっていました。6名の高校生達も「**同じ年代の沖縄の高校生と交流できてとても楽しかった。ボリビアに帰って友達にも伝えたい**」と話してくれました。彼らは17日間の日程で県内の小中高生徒との交流やホストファミリーとの生活、世界ウチナーンチュサミットへの参加など様々に沖縄に触れる予定をしているとのことでした。南農生にとっていい経験になった交流会でした。



祝！合格 3年生続々と進路決定！

9月に入り就職選考試験が始まり、進学組も希望する進学先に願書を提出したりと3年生にとって慌ただしい時期となります。先日、専門学校への「合格」を3名の生徒が勝ち取ったのを皮切りに、次々に進路決定の通知が学校に届いています。このだよりを書いている時点で、20名の生徒が進路を決めました。いいスタートになったと同時に、進路決定者は卒業後に向けた取り組みを考える必要が出てきます。私は面接練習に関わった生徒が進路決定の報告に来てくれた時に、「次は未定者のサポートをよろしく」と伝えるようにしています。仲間を思い、支える経験をして欲しいから、皆で支え合える南農生であって欲しいと思っています。

祝 創立77周年！ 創立記念講演会を開催しました



10月1日は本校の「**創立記念日**」です。**昭和23年の同じ日に開校**し、今年で77年を迎えることができました。今回は、本校の歴史を振り返りながら、農業教育を通して育まれた伝統や先輩方の輝かしい功績への理解と南農生が学校に誇りを持ち、有意義な学校生活を送る気持ちを創造し、自らの将来への可能性や求められる社会人としての在り方について学ぶ事を目的に講演会を開催しました。当日は同窓会長をはじめ多くの役員の方もお越しいただき、株式会社八重瀬堆肥センター代表取締役の新里菊也氏（**本校農業科卒**）と一般社団法人沖縄県環境科学センター専務理事の風岡雅輝氏に「**持続可能な畜産業のために**」と題してご講演をいただきました。自分達が作っている堆肥を販売するために科学的な分析を行い、実証実験の成果を広く理解してもらったお陰で今では購入希望者が殺到し、注文を受け付けてもほぼ3ヶ月待ちの状態にあるそうです。また新里さんは「とにかく学校にしっかりと通うこと、目標を見つけることが大切」と話していました。講演後はフロアから多くの質問があり、南農生も一生懸命聞いてくれたんだと嬉しく思いました。地域で活躍する偉大な先輩方に負けないような南農生を育てていかなければならないと先生方も気持ちを新たにできた講演会でした。

